

熊電駅公園化計画

～交通と交流の結節点～（御代志駅の場合）

社会基盤設計演習 溝上グループ

目次

- 福島交通飯坂電車を参考にするか
- この計画を発案した経緯
 1. 様々な声（熊電、合志市民の求めるもの）
 2. PCMとその抽出プロジェクトの解決策と具体案
 3. 熊電・合志市民・計画との関係と具体的デザインへのアプローチ
- 計画案
 1. 実地（御代志駅）応用案の紹介
 2. 計画を実現する上での課題

熊電駅公園化計画

梶原康至、田代達郎、平田晃久、藤田将史、森永咲、山城建人

福島交通飯坂電車を参考にするか

- 飯坂電車は**温泉街**への湯治客誘致を目的に創立（観光戦略がある）
 - 養蚕輸送を目的としていた熊本電鉄と**成立ちが異なる**
- 飯坂電車福島駅ではJR在来線と新幹線と駅舎が隣接し、**乗換えがラク**
 - 県外客も誘導できる。



現時点で福島交通を参考とするのは難しい

ただし

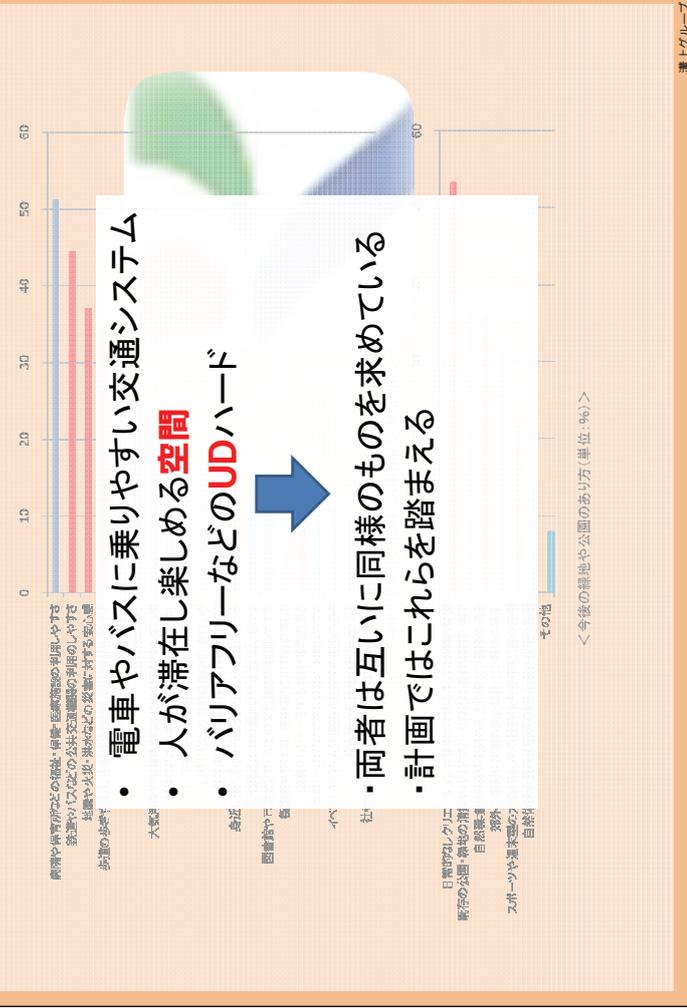
- JRの代わりに**バスとの相互乗換え簡易化**
- 温泉に替わる**集客力を持つ駅前へと開発** は可能

**熊本電鉄・合志市民・計画案が提供できる効果との関係を示し、
詳細なデザインを説明していく→**

熊本電鉄が求めるあるいは 守り続けたいと考えるハード

- 福島交通飯坂電車沿線が持つように、電車に乗って訪れるような**観光地**
- 人が自然に滞在するような**心地よい空間**を併せ持つ駅
- バリアフリーなどの**UD**ハード

合志市マスタープランにみる合志市民が求めるハード



- 電車やバスに乗りやすい交通システム
- 人が滞在し楽しめる**空間**
- バリアフリーなどの**UD**ハード

両者は互いに同様のものを求めている
 ・計画ではこれらを踏まえる

PCM抽出プロジェクトの解決策と具体案

解決策

- 御代志のバス停を使いやすいとする
- P&R駅を増やす
- 駅周辺の遊歩道を増やす
- 駅をきれいにする
- 駅の余地を有効利用
- 観光施設を増やす

具体案

- 御代志を終点とするバス及び全体の本数を増やす
- ロータリーの改造**
いくつかの駅に大規模なP&R駐車場を設置(現在黒石と新項屋で供用中)
- 屋根を付け、**木を植える**
- 敷地内の**再開発**
- 駅自体の**観光スポット化**
・定期的な**イベント**の開催
・地域の特性を活かす

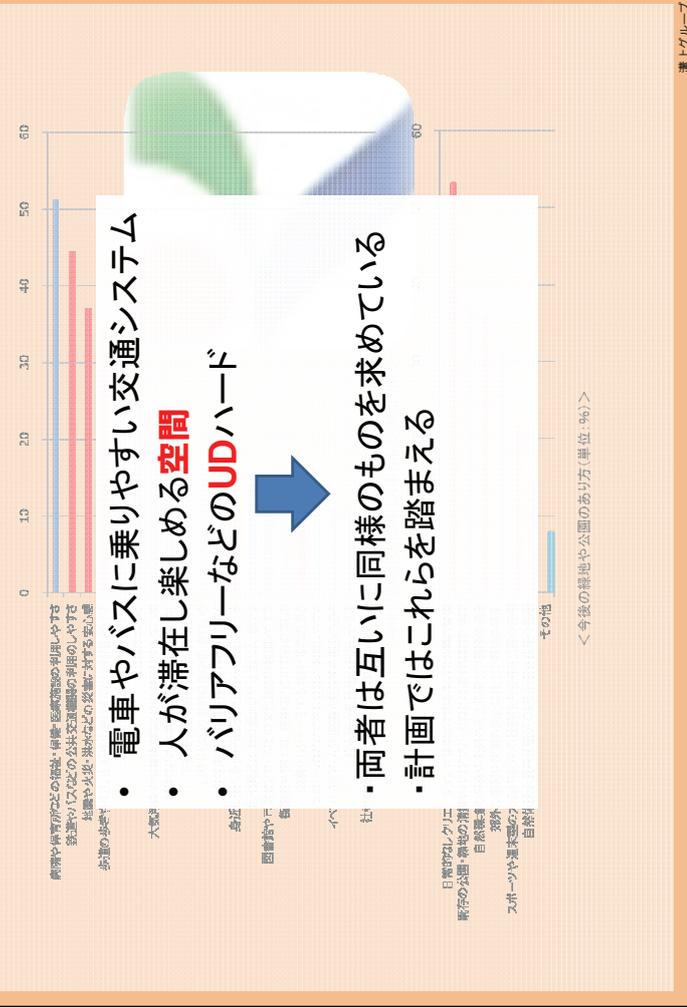
熊電が関わ

- 駅前・沿線から駅まで歩ける距離が短い
- 駅周辺の遊歩道が多い
- 駅がきれい
- 駅の土地の広さを有効活用している
- 観光施設が多い

熊電が関わ

- 駅前・沿線から駅まで歩ける距離が長い
- 駅周辺の遊歩道が少ない
- 駅が汚れている
- 駅の土地の広さを有効活用していない
- 観光施設が少ない

熊電・合志市民・計画の関係と 具体的デザインへのアプローチ



- 電車やバスに乗りやすい交通システム
- 人が滞在し楽しめる**空間**
- バリアフリーなどの**UD**ハード

- 駅自体の観光スポット化
- 定期的なイベントの開催
- 地域の特性を活かす
- 御代志を終点とするバス及び全体の本数を増やす
- ロータリーの改造
- 土地の再開発

- 電車に乗って訪れるような**観光地**
- 人が自然に滞在する**心地よい空間**
- バリアフリーなどの**UD**ハード

熊電全駅公園化

各駅に四季を取り入れる



春

各駅のコンセプト

※各駅のコンセプトは現地調査によって特徴をとらえ決定します。

御代志駅への応用デザイン案

●青春荘病院や恵楓園隣接所に近い
●交通量も多く日当たりがよい

御代志駅には「春」らしさが似合う

- 必要な機能
- 華らしい建物
 - 効果的なロータリー
 - イベントのできるスペース
 - (屋根や木陰によって演出する)避暑地

計画範囲

●熊鷹の土地だけでなくその周りに有効利用できる土地が
●将来的には一体的な整備が必要!

- 熊本電鉄御代志駅及び青春荘前駅周辺を中心に、公共交通機関の拠点としての機能を高め、菊池車庫園や熊本再春荘病院などの医療機関との連携を図り、利便性の高い交通要所を目指します。
- 引用(菊池車庫園将来構想検討委員会
菊池恵楓園将来構想骨子(資料編)7p.54
2010年3月)



御代志駅では恵楓園の土地を含めた範囲で検討してみることにした

問題点として抱える御代志駅の現状

- 問題点
- ①スロープが急斜面
 - ②舗装がガタガタ
 - ③ロータリーの導示が分かりにくい
 - ④387の交通量が多い
 - ⑤バス停が分かりにくい
 - ⑥未利用の土地が多い
 - ⑦貯水池が駅と裏の土地を遮っている

- 解決策
- バリアフリー化
 - 舗装をする
 - ロータリーの形状を覚えて利便性・安全性を上げる
 - 分かりやすいバス停を設置し、結合
 - 土地の有効利用
 - 貯水池を撤去し、結合

▲御代志駅の裏のスペースは菊池恵楓園の緑地となっている。



コンセプト

●華らしい木々の水遣
●イベント時に子どもと各ロータリーから集まることができる職員
●車庫とバスを近く設置し、乗換を円滑化
●熊鷹方向と熊本方向のバス停を分離すること
●木陰で落ち着いて通る空間を演出する道



●車庫とバス停を近くに設置し乗換を円滑化
●熊鷹方向と熊本方向のバス停を分離すること
●木陰で落ち着いて通る空間を演出する道

●景観的に周りの雰囲気と調和させる

●熊鷹園と広場へのつながりを生み出す

交通と交流の結節点

交通量が多い場所

- ロータリー周辺の歩道を一歩、既存の交差点に持つことで往來の混雑を避ける
- ロータリー一周りを車庫とする間に学生用、利用者に配慮
- 必要に応じて

交通ゾーン

- 駅に降りた時に開放感を感じるよう駅舎の前に芝生広場を設け、イベントを開催しやすくする。
- 花鳥ゾーンには二の丸公園のような使い方も

駅舎・柱廊について

- 景観的に周りの雰囲気と調和させる

ゾーン1

ゾーン2

ゾーン3

ゾーン4

バス停

エントランス

詳細な説明 ～全体像～



詳細な説明① ～駅舎とその周辺～

- 東屋みたいな駅舎
- ホームのレベルを上げ、ひな壇を設けた結果、車輛がオブジェのように見える
- 車窓からは今まで体感できなかった南東側の広大な眺めを楽しめる
- 駐輪スペースは今の位置のまま



フリーマーケット

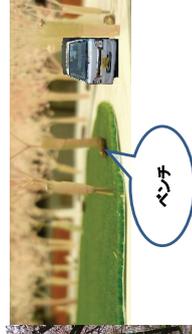
詳細な説明 ～広場では～



園内の道で軽トラ市



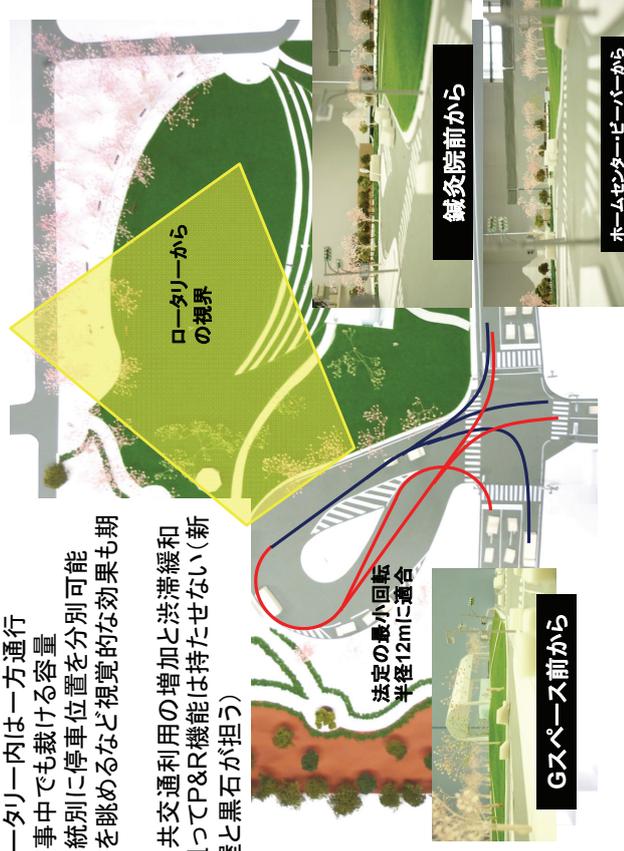
「春」駅なので花見の名所に



溝上グループ

詳細な説明② ～ロータリー～

- ロータリー内は一方通行
- 催事中でも載ける容量
- 系統別に停車位置を分別可能
- 桜を眺めるなど視覚的な効果も期待
- 公共交通利用の増加と渋滞緩和を狙ってP&R機能は持たせない(新須屋と黒石が担う)



溝上グループ

詳細な説明③ ～恵楓園へのアプローチ～

- ロータリーへ2WAYでアクセス
- 道は催事中でも余裕のある幅員
- 恵楓園へのエントランスでもある
- 途中にたまり場などを設け、憩いを演出
- 高齢者などが散歩中に休憩できる



溝上グループ

今後の課題

- ここまで紹介したデザインはあくまで一案
- 熊本電鉄をはじめ菊池恵楓園や御代志駅周辺
の住民の相互協力が不可欠
- 互いの主張によってこのデザインは柔軟に変
更されなければならない

発表は以上です。

ここからは模型を用いて説明致します